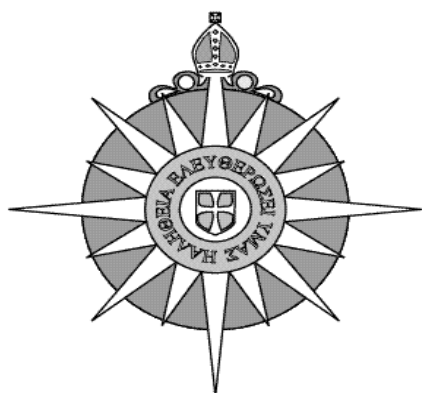


主教按手式

日本聖公会東京教区主教就任式



救主降生2001年3月31日

立教女学院聖マリア礼拝堂

聖書によれば、キリストの救いのみ業は、使徒たちの時代から教会の中で、多様な職務に表され、これに召された人びとが、その職務をもって神と人びとに仕えていた。そして、主教、司祭、執事と呼ばれる三重の聖職位がその聖なる公会を特徴づけるものとして、ごく初期から重んじられていたことは明らかである。主教の職位はこの三重の職務を全体として受け継ぎ、主の群れを司牧、監督し、すべての人を主にある一致と平和に導くことによって使徒職を行使する。司祭は、神のみ言葉を宣べ、聖奠を行い、宣教と牧会の働きを遂行することによって、常に主教とともにあり、その働きに参加する。執事は、教会のすべての働きにおいて、ことにキリストのみ名によって、貧しい人、病気の人、苦しむ人、助けを必要とする人びとに仕えることによって、主教と司祭を助ける。キリストの模範と聖霊の力により、主の救いのみ業を世のすべての人びとに伝え行くことは、キリストの体である公会の全体の務めであり、主教、司祭、執事は全信徒とともにこの務めを果たすための奉仕職である。

日本聖公会も長くこの職位を尊び受け継いできた。従って、まず召され、試みられ、教会によってこの職位につくのに適当な者と認められた者のみが、聖霊を求める祈りと主教の按手によって、この職位に任ぜられるのである。いかなる人も、この式によって任ぜられるか、あるいはほかの聖公会の主教によって正当に立てられた者でなければ、日本聖公会の主教、司祭、執事としての職務を行うことはできない。

しゅ きょう あん しゅ
主 教 按 手

前 奏 Komm, heiliger Geist BWV652 J. S. Bach
「来たれ、聖霊」 バッハ

入堂曲 Joyous Procession G.A.Cornell
「喜びの行列」 コーネル

ここで聖歌隊、聖職団、主教団は入堂する。

一同立つ。所定の位置につき、次の聖歌を歌う。

せいか
聖歌 古今聖歌集 第157番

LOBE DEN HERREN
Straßburg-Gesangbuch, 1545

155476

ちからのしを ほめたたえまつれ
わがこころよ いましめさめて

たてごと かきならしつ
つ

みなを ほめまつれ

Lobe den Herren, den mächtigen König der Ehren
Johann Neander, 1648

- | | |
|---|---|
| 1 ちからの主を ほめたたえまつれ
わがこころよ いましめさめて
たてごと かきならしつ
み名を ほめまつれ | 3 いのちの主を ほめたたえまつれ
しげめぐみ あめと ぶり そぞぐ
つきせぬ みいつくしみを
いかで わするべき |
| 2 すくいの主を ほめたたえまつれ
みことばもて わが身を はげまし
なやみに かたしめ たもう
みいつ たぐいなし | 4 さかえの主を ほめたたえまつれ
世をこぞりて かしこみ あがめよ
ひかりに います わが主を
とわに ほめまつれ |

広く教会の祈禱と立証を求めるため、首座主教があらかじめ
公告した日に、首座主教またはその指名を受けた主教が司
式して行う。

さん
参

にゅう
入

司式主教 ^{しゅ}主イエス・キリストよ、おいでください
会衆 ^{でし}弟子たちの中^{なか}に立ち、^た復活^{ふっかつ}のみ姿^{すがた}を現^{あらわ}され
たように、わたしたちのうちにもお臨^{のぞ}みくださ
い

ここで司式主教は、次の祈りを唱える。

^{ぜんのう}全能^{かみ}の神よ、^{こころ}すべての心^{しゅ}は主^{あらわ}に現れ、^{のぞ}すべての望^{しゅ}みは主
に知ら^しれ、^ひどのような秘^{みつ}密^{まえ}もみ前^{かく}に隠れることはありま
せん。どうか^{せいれい}聖霊^{こころ}によってわたしたちの心^{こころ}を清^{こころ}め、ま
とに主^{しゅ}を愛^{あい}してみ名^なの栄^{えいこう}光^{あらわ}を現^{あらわ}すことができますように、
主^{しゅ}イエス・キリスト^{ねが}によってお願い^{ねが}いたします。

アーメン

一同次の歌を歌う。

キリエエ レイリン キリエエ レイリン キリエエ レイリン

The first system of music consists of a vocal line and piano accompaniment. The vocal line is written in a treble clef with a key signature of one flat (B-flat). The lyrics are "キリエエ レイリン キリエエ レイリン キリエエ レイリン". The piano accompaniment is written in a grand staff (treble and bass clefs) and features a steady accompaniment pattern.

クリステイ レイリン クリステイ レイリン クリステイ レイリン

The second system of music consists of a vocal line and piano accompaniment. The vocal line is written in a treble clef with a key signature of one flat (B-flat). The lyrics are "クリステイ レイリン クリステイ レイリン クリステイ レイリン". The piano accompaniment is written in a grand staff and features a steady accompaniment pattern.

キリエエ レイリン キリエエ レイリン キリエエ レイリン

The third system of music consists of a vocal line and piano accompaniment. The vocal line is written in a treble clef with a key signature of one flat (B-flat). The lyrics are "キリエエ レイリン キリエエ レイリン キリエエ レイリン". The piano accompaniment is written in a grand staff and features a steady accompaniment pattern.

一同次の歌を歌う。

だい えい こう うた

大栄光の歌

前奏



いと高き天にはかみに栄光、世にほみじにかばう人々にいねがあらますように。



全能の父、天の王、主はる神よ、主をおがみ、主にかんじし、



主のえい光をほめたたえます。父の独り子、主イエスキリスト

世の罪を除く 主なる神よ、 わたしたちに おあたえください。
 神の小羊、 横れみを

父の右に おられる主よ、 わたしたちの 受け入れてください。
 座して 祈りを

イエス・キリストよ、 主のみ聖、主のみ王、主のみ聖霊とひとに、

父なる神の 栄光のうちに、 わつむたかくおられます アーメン

とく とう
特 禱

司式主教 ^{しゅ みな} 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式主教 ^{いの} 祈りましょう

ここで司式主教は、次の特禱を唱える。

^{ちち かみ ぜん せ かい しゅ こ ぜん}
父なる神、全世界の主よ、み子によってわたしたちを全
^{こうかい まじ なか め かんしゃ}
公会の交わりの中にお召しくださいましたことを感謝いたし
^{しゅ たみ ささ いの みみ かたむ}
ます。どうか主の民のために献げる祈りに耳を傾け、わ
^{ひとり め ほうし わざ とお しゅ}
たしたち一人ひとりが、召された奉仕の業を通して、主
^{あい うつわ いま しゅきょう にん}
の愛の器となることができますように。今、主教に任せ
^{しもべ つと ひつよう めぐ たまもの あた}
られる僕に、その務めに必要な恵みの賜物をお与えくだ
^{すく ぬし ねが}
さい。救い主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

こと ば
み 言 葉

司式主教 ^{せいしょ ことば き} 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

きゅうやくせいしよ

旧約聖書

朗読者 きゅうやくせいしよ しょ だい しょう せつ
旧約聖書はイザヤ書 第61章 1節から

しゅ あぶら そそ
主はわたしに油を注ぎ

しゅ かみ れい
主なる神の霊がわたしをとらえた。

つか
わたしを遣わして

まず ひと よ し つた
貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。

う くだ ところ つつ
打ち砕かれた心を包み

と びと じゅう
捕らわれ人には自由を

ひと かいほう こくち
つながれている人には解放を告知させるために。

しゅ めぐ あた とし
主が恵みをお与えになる年

かみ ほうふく ひ こくち
わたしたちの神が報復される日を告知して

なげ ひとびと なぐさ
嘆いている人々を慰め

なげ ひとびと
シオンのゆえに嘆いている人々に

はい か かんむり
灰に代えて冠をかぶらせ

なげ か よろこ こうゆ
嘆きに代えて喜びの香油を

くら ところ か さんび ころも
暗い心に代えて賛美の衣をまとわせるために。

かれ しゅ かがや あらわ う
彼らは主が輝きを現すために植えられた

せいぎ かし き よ
正義の樫の木と呼ばれる。

(イザヤ書 61 : 1 ~ 3)

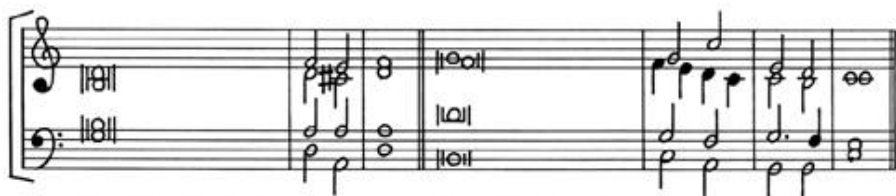
朗読者 ^{きゅうやくせいしよ お} 旧約聖書を終わります

とうしょう し へん
答唱詩編 第100編

聖歌隊は次の詩編を歌う。会衆は着席。



1. 世界よ、主に向かて喜びの声を上げ 喜んで主に仕え歌い踊らぬにすすめ
 3. 感謝して門をくぐり、
 賛美して中庭にはいれ 神に感謝を献げ、み名をたたえよう
 栄 こうは 父と子と せいれいに



2. 主こそ神であると知れ、 わたしたちは神のもの、
 神はわたしたちを造られた その民、その牧場のひつじ
 4. 主は恵み深く、怒りは限りなく そのまことは 世々に およぶ
 初めのように、 いまも 世々に限りなく ア - - - メン

し と しょ
使 徒 書

朗読者 使徒書はコリントの信徒への手紙 二
だい しょう せつ
第4章 1節から

こういわけで、わたしたちは、^{あわ う もの}憐れみを受けた者としてこ
^{つと らくたん}の務めをゆだねられているのですから、落胆しません。か
^{ひれつ かく おこな す わるがしこ あゆ かみ}えて、卑劣な隠れた行いを捨て、悪賢く歩まず、神
^{ことば ま しんり あき かみ み}の言葉を曲げず、真理を明らかにすることにより、神の御
^{まえ じぶん じしん ひと りょうしん}前で自分自身をすべての人の良心にゆだねます。わた
^{ふくいん おお か}したちの福音に覆いが掛かっているとすれば、それは、
^{ほろ みち ひとびと たい おお}滅びの道をたどる人々に対して覆われているのです。こ
^{よ かみ しん ひとびと ところ め}の世の神が、信じようとはしないこの人々の心の目をくら
^{かみ に すがた えいこう かん ふくいん ひかり}まし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光
^{み じぶん じしん}が見えないようにしたのです。わたしたちは、自分自身を
^{の つた しゅ の つた}宣べ伝えるのではなく、主であるイエス・キリストを宣べ伝
^{じしん}えています。わたしたち自身は、イエスのためにあなたが
^{つか しもべ やみ ひかり かがや で めい}たに仕える僕なのです。「闇から光が輝き出よ」と命じら
^{かみ ところ うち かがや}れた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリス
^{み かお かがや かみ えいこう さと ひかり あた}トの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。

ところ^{たから}で、わたしたちは、この^{つち}ような^{うつわ}宝^{おさ}を土の器に納めてい
 ます。この^{なみはず}並外れて^{いたい}偉大な^{ちから}力が^{かみ}神のもの^{あき}であって、わたし
 たちから出たものでない^{しほう}ことが^{くる}明らか^いになる^づために。わたし
 たちは、四方^{しほう}から^{しいた}苦しめられても^{みす}行き詰^うまらず、途方^{たお}に暮
 れても^{ほろ}失望^しせず、虐げられても^{いのち}見捨てられ^{からだ}ず、打ち倒され
 ても滅ぼ^{いのち}されない。わたしたちは、いつも^{からだ}イエスの死^{あらわ}を体
 にまっています、イエスの命^しがこの^{からだ}体に^{あらわ}現れる^しために。

(Ⅱコリント4：1～10)

朗読者 ^{し としよ お}使徒書を終わります

^{しょうかいしょう}昇階唱 (アレルヤ唱)

一同立つ。



ふく いん しょ
福 音 書

一同福音書の方を向く。

朗読者 ^{しゅ みな} 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

朗読者 ^{せい ふくいんしょだい しょう せつ い か する} 聖ヨハネによる福音書第21章15節以下に記

^{しゅ ふくいん しゅ えいこう} された主イエス・キリストの福音。主に栄光

会衆 ^{しゅ えいこう} 主に栄光がありますように

^{しょくじ お} 食事が終わると、^こ イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子
^{ひと いじょう あい い} シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言わ
れた。ペトロが、「はい、^{しゅ あい} 主よ、わたしがあなたを愛して
いることは、^{ぞん い} あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わ
^{こひつじ か い にどめ} たしの小羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエス
は言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを^{あい} 愛している
か。」ペトロが、「はい、^{しゅ あい} 主よ、わたしがあなたを愛してい
ることは、^{ぞん い} あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わ
^{ひつじ せわ い さんどめ} たしの羊の世話をしなさい」と言われた。三度目にイエ
スは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを^{あい} 愛している

か。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」（ヨハネ21:15～17）

朗読者 ^{しゅ かんしゃ} 主に感謝
 会衆 ^{しゅ かんしゃ} 主に感謝します

せつ きょう
 説 教

説教者 主教 ウィリアム 村上達夫 師

しん きょう
 ニ ケ ヤ 信 経

一同立って歌う。

また、世々の光に 主イエス・ 信じます。 主は 光よりの光、 まことの神よりの
 父から生まれた独り子、 キリストを 神よりの神、 まことの神、

造られず、 父と一体です。 すべてのものは 主はわたしたちを またわたしたちを
 生まれ、 主によって造られました。 人類のため、 救うため

天から 聖霊 おじのマリヤから 人となり、 ホンテオ、 わたしたちの 十字架に
 降り、 によって、 肉体を受け、 ピラトのもて、 ために つけられ、

苦しみを 死んで 聖書に 三日目によみがえり、 天へのぼり、 父の右に座して
 受け、 捧られ、 おおとあり

また、生きて 死んだ人ヒを 栄光のうちに その国は終わる また、まはる 信じます。
 いる人ヒ 善くため、 再び来られます。 ことがありません。 聖霊を

聖霊は 父ヒ子から 父ヒ子ヒにも 預言者によって 語られた主です。
 命の与え主、 送られ、 拜みあげられ、

また、使徒たち 唯一の 信じます。 罪の赦しための 唯一の洗礼を 信認し、
 からの 聖なる公会を

死者のよみがえリヒ 来世の 命を 待ち望みます アーメン

すい せん
推 薦

次に司式主教は祭壇の前の座に着き、会衆も着席する。
二人の主教は、正服の一部を着けた被選主教を伴い、次
のように推薦する。

しゅきょう せんきょ ひ せんしゅきょう うえ だ じん
主教よ、さきに選挙され、被選主教とされたペテロ植田仁
たろう し て せいれい ちから し と ゆい
太郎師に手をおき、聖霊の力によって使徒たちからの唯
いつ せい こうかい しゅきょう せいべつ
一の聖なる公会の主教に聖別してください

司式主教は、所定の証明書を朗読させる。続いて被選主
教は、次の誓約をする。

ちち こ せいれい な
父と子と聖霊のみ名によって、アーメン
かみ こうかい しゅきょう せんきょ うえ だ じん たろう
神の公会の主教に選挙されたわたしペテロ植田仁太郎
きゅうやくせいしよ しんやくせいしよ かみ ことば すく ひつ
は、旧約聖書と新約聖書は神のみ言葉であり、救いに必
よう しる しん にっぽん
要なすべてのことが記されていると信じます。また日本
せいこうかい きょうり きりつ れいはい じゅんしゅ せいやく
聖公会の教理、規律、礼拝を順守することを誓約します

一同立つ。司式主教は、会衆に向かい、次のように言う。

きょうだいし まい うえ だ じん た
司式主教 キリストにある兄弟姉妹よ、ペテロ植田仁太
らう し とungskyōkyōk かん きょうかい しゅきょう
郎師は、東京教区のため、神の教会の主教
ただ えら みな うえ
として正しく選ばれました。皆さんはペテロ植
だ じん た ろう し しゅきょう あんしゅ どうい
田仁太郎師が主教に按手されることに同意し

ますか

会衆 同意します

司式主教 皆みなさんは、うえ だ じん た ろ う し し ゅ き ょ うペテロ植田仁太郎師を主教として

支持し じしますか

会衆 支持し じします

し もん
試 問

会衆は着席する。
司式主教は次のように言って試問し、被選主教は答える。

せい こうかい し ゅ き ょ う し と も は ん したが
聖なる公会の主教は、使徒の模範に従って、キリストの
ふ っ か つ せんげん ふくいん と おう おう し ゅ し ゅ
復活を宣言し、福音を説き、また王の王、主の主である
し ゅ けん あか し め
キリストの主権を証するように召されています。

き ょ う か い し ん こ う い っ ち き り つ よ う ご し ん
あなたは、教会の信仰と一致と規律を擁護するため、新
やく せいてん し し き た だ お こ な
約の聖奠を司式し、それが正しく行われるようにするた
し さい し つ じ せいべつ し ゅ き ょ う せいべつ さん か
め、司祭、執事を聖別し、また主教の聖別に参加するた
む ぜんたい
め、そしてすべてのことにおいて、キリストの群れ全体
ち ゅ う じ つ ぼ く し ゃ けん ぜん も は ん め
の忠実な牧者、健全な模範となるために召されています。

ど う り ょ う し ゅ き ょ う せ かい ひ ろ き ょ う か い
あなたは同僚の主教たちとともに、世界に広がる教会の
き ょ う ど う て き し ど う つ と
共同的指導の務めにあずからなければなりません。ま
ぞ く ち ょ う よ げ ん し ゃ し と じ ゅ ん き ょ う し ゃ は じ き ぼ う
たあなたは、族長、預言者、使徒、殉教者を初め希望を

もって神を仰いできた世々の人びとの信仰を受け継いで
います。あなたは仕えられるためではなく、仕えるため、
また多くの人の贖いとして命を与えるために来られた方
に従うとき、喜びに満たされるでしょう

司式主教 あなたは、神があなたを主教の務めに召され
たと信じますか

答 信じます

司式主教 あなたはこの召命を受け入れ、キリストに全
く服従してそれにこたえますか

答 わたしはキリストに従い、そのみ名によって
仕えます

司式主教 あなたは、イエス・キリストへの信仰を通し
て、聖書を永遠の救いに必要なすべてのこと
を啓示しているものとして受け入れますか

答 そのように受け入れます

司式主教 あなたは、日本聖公会が公会のえだとして受
け継いできたキリスト教信仰の教理を信じ、
あなたの務めとしてこれを説き、教えますか

答 これを信じ、説き、教えます

司式主教 あなたは、キリストの心を心とするために、

ちゅうじつ いの せいしよ まな つと
忠実に祈り、また聖書を学ぶことを努めます

か

かみ たす つと
答 神の助けによって努めます

司式主教 あなたは、あなたの民の心の目を開かせ、
りょうしん ふん き だいたん
良心を奮起させるため、大胆に、キリストの
ふくいん せんげん と あ
福音を宣言し、説き明かしますか

せいれい ちから つと
答 聖霊の力によって努めます

司式主教 祭司の長、牧者の長として、あなたは洗礼を
さいし ちょう ぼくしゃ ちょう せんれい
受けたすべての人にその賜物を保たせ、奉仕
う ひと たまもの たも ほうし
の務めを励まし、神の豊かな恵みによって彼
つと はげ かみ ゆた めぐ かれ
らを養い、絶えず彼らのために祈り、キリス
やしな た かれ いの
トが定められた聖奠を彼らとともに行います
さだ せいてん かれ おこな

か

たましい だいぼくしゃ だいさいし な
答 魂の大牧者、大祭司であるキリストのみ名に
つと
よって努めます

司式主教 あなたは教会の信仰と一致と規律を擁護しま
きょうかい しんこう いつち きりつ ようご
すか

かみ あい もと つと
答 神の愛に基づいて努めます

司式主教 あなたは公会を治めるため、主教団のうちに
こうかい おさ しゅきょうだん
あって、その務めを分かち合いますか。また、
つと わ あ

どうろう し さい さき かれ じょげん もと
同労の司祭たちを支え、また彼らの助言を求
めますか。執事たちまた教会で奉仕するすべ
ての人を導き、力づけますか

答 神の恵みによって努めます

司式主教 あなたはすべての人に親切であり、貧しい人、
寄るべない人、助け手のない人びとの身に
なって彼らを守りますか

答 キリスト・イエスのみ跡に従って努めます

司式主教 あなたは、あなたと家族の生活を、キリスト
の道にかなわせるように努めますか

答 神の助けによって努めます

かい しゅう いの 会衆の祈り

司式主教は会衆に向かって言う。

あい きょうだいし まい ぜんのう かみ こうかい しゅきょう
愛する兄弟姉妹よ、全能の神がいま、公会の主教の
職に召されたこの僕を受け、祝福してくださるように祈
りましょう

聖職団はひざまずき、会衆は着席のまま、しばらく黙禱する。
続いて聖職按手の嘆願を唱える。

司式者 ちち かみ
父なる神よ

会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください ^{あた}

司式者 ^こ 子なる神よ ^{かみ}

会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください ^{あた}

司式者 ^{せいれい} 聖霊なる神よ ^{かみ}

会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください ^{あた}

司式者 ^{せい} 聖なる三位一体の神よ ^{さん いったい かみ}

会衆 ^{あわ} 憐れみをお与えください ^{あた}

司式者 ^{つみ こうまん きよえい ぎ ぜん} すべての罪、高慢、虚栄、偽善、ねたみ、憎 ^{にく}
^{うら} み、恨み、またすべての無慈悲から ^{む じ ひ}

会衆 ^{しゅ} 主よ、お救いください ^{すく}

司式者 ^よ 世と肉と悪魔の誘惑、怠惰、快樂にふけり、金 ^{にく あくま ゆうわく たいだ かいらく きん}
^{せん} 銭におぼれ、またすべて心をかたくなにし、主 ^{こころ} ^{しゅ}

^{ことば いまし かる} のみ言葉と戒めを軽んじることから

会衆 ^{しゅ} 主よ、お救いください ^{すく}

司式者 ^{かな} 悲しみにも、喜びにも、死に臨むときにも、審 ^{よろこ し のぞ さば}
^ひ きの日にも

会衆 ^{しゅ} 主よ、お救いください ^{すく}

司式者 ^{しゅ} 主なる神よ、^{かみ} 聖なる公会を治め導き、^{せい こうかい おさ みちび あい しんり} 愛と真理
^み で満たし、^{こころ} み心にかなう一致をお与えください ^{いっ ち あた}

会衆 ^{しゅ き} 主よ、お聞きください

司式者 ^{しゅきょう しさい しつじ おし せいかつ} すべての主教、司祭、執事がその教えと生活を
^{ことば の つた} もってみ言葉を宣べ伝えることができますよう
に

会衆 ^{しゅ き} 主よ、お聞きください

次の願いは、司式主教が言う。

司式主教 ^{しゅきょう しよく せいべつ しもべ しゅく} いま、主教の職に聖別されるこの僕を祝し、
^{しゅ こうかい つか な えいこう あらわ} 主と公会によく仕え、み名の栄光を現すこと
ができますように

会衆 ^{しゅ き} 主よ、お聞きください

司式者 ^{しゅ たみ しゅく ことば き おこな} 主の民を祝し、み言葉を聞き、これを行い、こ
^{つた めぐ くわ せいれい み} れを伝え、ますます恵みを加えられ、聖霊の実
^{むす} を結ばせてください

会衆 ^{しゅ き} 主よ、お聞きください

司式者 ^{しゅ か い ば おお はたら びと おく} 主の刈り入れ場に多くの働き人をお送りくださ

い

会衆 ^{しゅ き} 主よ、お聞きください

司式者 ^{しんこう た つよ たお もの お こころ} 信仰に立つものを強め、倒れた者を起こし、心の

よわ もの ちから あくま あし
弱い者を力づけ、悪魔をわたしたちの足もとに
うち伏せてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 すべて迷っている人、欺かれた人、心の閉ざさ
れている人をまことの道に導いてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 主を知らない人、信仰を失った人びとが、福音
の光を受けることができますように

会衆 主よ、お聞きください

司式者 国々、人びとの内に尊敬と忍耐の心が増し加わ
り、世界に平和と一致が与えられますように

会衆 主よ、お聞きください

司式者 貧しい人、病気の人、飢えに苦しんでいる人、
差別と迫害の中にある人、その他すべて危険の
中にある人が重荷から解放され守られますよう

に

会衆 主よ、お聞きください

司式者 わたしたちにまことの悔い改めを与え、すべて
の罪と怠りと過ちを赦し、み言葉に従って行い
を改めるために、聖霊の恵みをお与えください

会衆 ^{しゅ}主よ、^きお聞きください

次に司式主教は立って言う。

司式主教 ^{つみ}わたしたちの^{ゆる}罪をお^{あわ}赦^{ふか}くださる^{あわ}憐れみ^{ふか}深い
^{しゅ}主よ、^こあなたは^なみ子の^{いの}名^{いの}によって^{いの}祈る^{いの}祈りを
^きお聞き^{しんこう}くださいます。どうか^{ねが}信仰^{ねが}をもって願
^{いの}う^う祈り^いを受け入れ、^{むね}わたしたちが^{おこな}み旨^{おこな}を行う
ことができ^{しゅ}ますように、^{しゅ}主イエス・キリスト
によって^{ねが}お願い^{ねが}いたします。アーメン

一同次の聖歌を歌う。

せいれい もと うた

聖霊を求める歌 古今聖歌集 第276番

VENI CREATOR

〔ユニゾン〕 (唱えるように)

8888 (L.M.) (Mecelin) Mode viii; Arr. by J. H. A. 1887-

(主教) み た - ま よ - く だ - り て (強) な が つ く - り ま - し し

(主教) こ こ - ろ に - め ぐ - み を (強) あ ふ れ し - め た - ま え ア - - - め ン

- 1 . みたまよくだりて ながつくりましし
 こころにめぐみを あふれしめたまえ
- 2 . ななのたまもの あぶらをそそぎて
 いのちのいずみを ひらき飲ましめよ
- 3 . こころのくらきを てらしみちびきて
 けがれもはじをも とりのぞきたまえ
- 4 . わがうちにやどり やすきをたもたせ
 そとべよりおそう あたをふせぎてよ
- 5 . ちちみこみたまの みつのくらいなる
 ひとりのみかみを さとらしめたまえ
- 6 . ちちみこのおくる みたまみちびけば
 かみのみさかえを とこしえにうたわん アーメン

しゅきょうせい べつ
主 教 聖 別

司式主教は臨席主教とともに立つ。
被選主教は司式主教の前にひざまずく。
会衆は立つ。
司式主教は被選主教に向かって手を延べて言う。

ぜんのう ちち ひろ せ かい ぜんじんるい すく いっ ち
全能の父よ、あなたが広く世界に、全人類の救いと一致
のために、^{せい}聖なる^{こうかい}公会を^{しゅ}主の^{せい}聖なる^{たみ}民、^{さいし}祭司の^{くに}国として
建てられたことを^{さんび}賛美し、ほめたたえます。あなたが、
^{しんこう}信仰の^し使徒また^{だいさいし}大祭司、^{たましい}魂の^{だいぼくしゃ}大牧者として、^{ひと}独りの^こみ子
イエス・キリストをお与えくださったことを^{さんび}賛美し、ほ
めたたえます。み子がその死によって死に勝ち、^{てん}天に昇
り、^{せいと}聖徒^{ととの}たちを整えて^{ほうし}奉仕の^{わざ}業を行わせ、^{おこな}主の^{しゅ}体を^{からだ}建て
るために、^{ゆた}豊かな^{たまもの}賜物を与え、^{あた}ある^{ひと}人を^{しと}使徒、^{ひと}ある^{ひと}人を
^{よげんしゃ}預言者または^{でんどうしゃ}伝道者、^{ぼくし}牧師、^{きょうし}教師としてくださったこと
を^{さんび}賛美し、ほめたたえます。今、^{いま}主の^{しゅ}教会に^{きょうかい}ゆだねられ
た^{つと}務めを^わ分かち^あ合うために、^なみ名によって^{せいべつ}聖別するこの
^{しゅ}主の^{しもべ}僕をお^め召し^{かんしゃ}くださったことを感謝します

司式主教と臨席主教は被選主教の頭に手をおき、
ともに言う。

しゅ きょうかい しゅきょう つと はたら しゅ しもべ
主の教会における主教の務めと働きのために、主の僕

せいれい そそ
ペテロに聖霊を注いでください。アーメン

続いて司式主教は言う。

ぜんのお ちち し と あた めぐ ちから
全能の父よ、使徒たちにお与えになった恵みと力を、こ
しもべ み すく ふくいん せんげん
の僕に満たしてください。救いの福音を宣言するために
ひと みちび かれ とお
ゆだねられた人びとを導くことができますように。彼を通
しゅ きょうがい つよ はたら ひ び あら せいと
して主の教会を強め、その働きを日々新たにし、聖徒
しん り あい せい まじ むす あ
たちを真理と愛の聖なる交わりのうちに結び合わせてく
ださい。まことの牧者として主の群れを養い治める力と、
きょうし おし みちび ち え さと あた しんこう せいてん よう
教師として教え導く知恵と悟りを与え、信仰と聖奠の擁
ごしゅ かた た しゅ たみ れいはい
護者として堅く立たせてください。主の民の礼拝をつか
しもべ みちび しもべ ところ
さどるとき、僕を導いてください。僕にへりくだりの心
あた きず たお
を与え、傷つけるためではなくいやすために、倒すため
た けん い もち
ではなく建てるために、その権威を用いさせてください。
かれ あく まも しゅ かぞく おさ もの
彼をすべての悪から守り、主の家族を治める者、キリス
だいりしゃ せ まえ た
トの代理者として、責められることなくみ前に立たせ、
つい しゅ しもべ えいえん よろこ
遂に主のすべての僕とともに、永遠の喜びにあずからせ
てください

いつく ふか ちち こ
慈しみ深い父よ、み子イエス・キリストによってわたし
いの う ちち せいれい えいこう
たちの祈りをお受けください。父と聖霊とともに栄光と

ほま さんび いま よよ かぎ こ
誉れと賛美が、今も、世々に限りなく、み子にあります
ように。アーメン

新主教は立つ。

司式主教は主教按手の証を渡す。
司式主教は聖書を渡しながら言う。

せいしよ う えいえん いのち ことば しる
聖書を受けなさい。ここに永遠の命のみ言葉が記されて
います。あなたの道を照らす光として、このみ言葉を受
け、世界に宣言しなさい。聖霊があなたを牧者として遣
わされた群れの中であって、すべての羊を見守りなさい。
しん もの はげ うしな もの みちび
信じる者を励まし、失われた者を導きかえし、キリスト
からだ う た しゅ いの ぜんじんるい いっ
の体を打ち建てなさい。主イエスが祈られた全人類の一
ち つと だいぼくしゃ ふたた こ とく く
致をめざして努め、大牧者が再び来られる時、朽ちるこ
えいこう かんむり う
とのない栄光の冠を受けることができますように

主教団、東京教区の代表はシマー、十字架、ストール、チャ
リスとパテン、油、塩を渡しながら、次のように言う。

み しゅきょう
代表 このシマーを身につけてください。これは主教
しよく おこな もの しよくい よ ひと
職を行う者の職位のしるしです。世の人びとは
みちび ま みちび ひと
あなたの導きを待っています。あなたが導くべき人
きょうどうてき しどう つと そんちょう あい そん
びとがその 共 同的指導の務めを尊重し、愛と尊
けい しほく せいじつ したが しゅ
敬をもってあなたの司牧に誠実に従い、ともに主な

かみ えいこう あらわ しゅ
る神の栄光を現すことができますように、主の
しゅくぶく ゆた
祝 福が豊かにあますように。

代表 この十字架を身につけてください。十字架は主イ
じゅうじ か み しゅうじ か しゅ
エス・キリストの受難、死、復活を示し、あなたが
じゆなん し ぶっかつ しめ
主イエス・キリストのご生涯をとともに歩み、主に従っ
しゅ しょうがい あゆ しゅ したが
てその模範をこの世に示すことを表すものです。
もはん よ しめ あらわ
主イエス・キリストへの 従 順 によって、主なる神
しゅ じゅうじゆん しゅ かみ
の栄光を現すことができますように、主の祝 福が
えいこう あらわ しゅ しゅくぶく
豊かにあますように
ゆた

代表 このストールを身につけてください。これはあなた
み
が使徒たちの伝 承に従って行う聖奠を祝う働きを
し と でんしょう したが おこな せいてん いわ はたら
示します。あなたの働きにあずかるすべての人び
しめ はたら ひと
とが、ともに主なる神の栄光を現すことができますよ
しゅ かみ えいこう あらわ
うに、主の祝 福が豊かにあますように。
しゅ しゅくぶく ゆた

代表 このチャリスとパテンを受け^うてください。これはあな
しゅ しゅ きょうかい だいひょう しゅ
たが主イエス・キリストの教 会を代 表して主の
ばんさん いわ しゅ し ぶっかつ きねん
晩餐を祝い、主イエス・キリストの死と復活を記念

する^{もち}ために用^{しゅ}いる^{しよくたく}もの^{まね}です。あなた^{ひと}が主^{めく}の食^{しゅ}卓^{かみ}に
招^{えいこう}く^{あらわ}す^{しゅ}べて^{しゅくふく}の人^{しゅ}び^{しゅくふく}と^{ゆた}が恵^{しゅ}みに^{しゅくふく}あ^{ゆた}ず^{ゆた}かり、主^{しゅ}なる^{しゅくふく}神^{ゆた}
の栄^{しゅ}光^{しゅくふく}を^{ゆた}現^{しゅ}す^{しゅくふく}こ^{ゆた}と^{しゅ}が^{しゅくふく}で^{ゆた}き^{しゅ}ま^{しゅくふく}す^{ゆた}よ^{しゅ}う^{しゅくふく}に、主^{しゅ}の祝^{しゅ}福^{しゅくふく}が
豊^{しゅ}か^{しゅくふく}にあ^{ゆた}ま^{しゅ}す^{しゅくふく}よ^{しゅ}う^{しゅくふく}に

代表 ^{あぶら}この^う油^{あぶら}を受^{せいべつ}けて^{せいれい}くだ^{せいれい}さい。この^{あぶら}油^{せいべつ}を^{せいれい}聖^{せいれい}別^{せいれい}し、^{せいれい}聖^{せいれい}霊^{せいれい}
の^{きよ}清^{はげ}め^{なぐさ}と^{いや}励^{せいゆ}まし、^{もち}また^{もち}慰^{もち}め^{もち}と^{もち}癒^{もち}し^{もち}の^{もち}聖^{もち}油^{もち}と^{もち}して^{もち}用^{もち}い^{もち}
て^{あぶら}くだ^{あぶら}さい。この^{あぶら}油^{あぶら}によ^{あぶら}って^{あぶら}清^{あぶら}め^{あぶら}ら^{あぶら}れ^{あぶら}癒^{あぶら}さ^{あぶら}れる^{あぶら}す^{あぶら}べ^{あぶら}
て^{あぶら}の^{あぶら}人^{あぶら}び^{あぶら}と^{あぶら}が、^{あぶら}主^{あぶら}なる^{あぶら}神^{あぶら}の^{あぶら}栄^{あぶら}光^{あぶら}を^{あぶら}現^{あぶら}す^{あぶら}こ^{あぶら}と^{あぶら}が^{あぶら}で^{あぶら}き^{あぶら}
ま^{あぶら}す^{あぶら}よ^{あぶら}う^{あぶら}に、主^{あぶら}の^{あぶら}祝^{あぶら}福^{あぶら}が^{あぶら}豊^{あぶら}か^{あぶら}にあ^{あぶら}ま^{あぶら}す^{あぶら}よ^{あぶら}う^{あぶら}に

代表 ^{しお}この^う塩^{しお}を受^{しお}けて^{しお}くだ^{しお}さい。わた^{しお}した^{しお}ち^{しお}は^{しお}地^{しお}の^{しお}塩^{しお}で^{しお}
す。地^{しお}の^{しお}塩^{しお}と^{しお}して、^{しお}また、^{しお}僕^{しお}の^{しお}僕^{しお}と^{しお}して^{しお}果^{しお}た^{しお}す^{しお}職^{しお}
務^{しお}に^{しお}お^{しお}励^{しお}み^{しお}く^{しお}だ^{しお}さい。この^{しお}塩^{しお}は^{しお}わた^{しお}した^{しお}ち^{しお}が^{しお}と^{しお}も^{しお}に^{しお}
支^{しお}え^{しお}あ^{しお}い、^{しお}主^{しお}と^{しお}人^{しお}び^{しお}と^{しお}に^{しお}仕^{しお}え^{しお}る^{しお}し^{しお}る^{しお}し^{しお}です。あ^{しお}なた^{しお}
と^{しお}と^{しお}も^{しお}に^{しお}世^{しお}の^{しお}僕^{しお}と^{しお}な^{しお}って^{しお}働^{しお}く^{しお}人^{しお}び^{しお}と^{しお}が、^{しお}主^{しお}なる^{しお}神^{しお}の^{しお}
栄^{しお}光^{しお}を^{しお}現^{しお}す^{しお}こ^{しお}と^{しお}が^{しお}で^{しお}き^{しお}ま^{しお}す^{しお}よ^{しお}う^{しお}に、主^{しお}の^{しお}祝^{しお}福^{しお}が^{しお}豊^{しお}
か^{しお}にあ^{しお}ま^{しお}す^{しお}よ^{しお}う^{しお}に

しゅ きょうちやく ざ
主 教 着 座

主教座聖堂理事長は指輪を新主教に渡しながらかう。

ゆび わ し ぼく
この指輪をつけてください。これはあなたとあなたが司牧
ち ひと むす いま
する地のすべての人びとを結びあわせるしるしです。今、
ちやくざ しゅきょうざ し と つた ふくいん
着座される主教座から使徒たちによって伝えられた福音の
ことば せんげん しゅ みち と はたら びと せんとう た
み言葉を宣言し、主の道を説き、働き人たちの先頭に立つ
ひと しゅ みちび し ぼく
て、人びとを主のもとに導いてください。あなたの司牧に
ちゆうじつ したが とも しゅ みち あゆ しさい しつじ た きょう
忠実に従い共に主の道を歩む司祭、執事、その他の教
えきしゃ しん と しゅ かみ えいこう あらわ
役者、またすべての信徒たちが、主なる神の栄光を現す
しゅ しゅくふく ゆた
ことができますように、主の祝福が豊かにおますように

司式主教は祭壇上に置かれた牧杖を受け、現任の教区主教に渡す。現任の教区主教は次の言葉を用いて新主教に牧杖を渡し、主教座に着かせる。

ここで教区主教の職務のすべては新教区主教に引き継がれる。

にっぽんせいこうかい にっぽんせいこうかいとうきょうきょう く せいしよく しん と だい
日本聖公会と日本聖公会東京教区の聖職と信徒を代
ひょう ぼくじょう わた し ぼく
表して、わたしは、あなたにこの牧杖を渡します。司牧の
ぼくじょう しゅ
しるしであるこの牧杖を、あなたが主キリスト・イエスのみ
な もち よ ひつじか
名によって用いるとき、良い羊飼いであるキリストが、あな

ささ
たを支えてくださいますように。アーメン

へい わ あい さつ
平和の挨拶

一同立つ。

新主教 しゅ へい わ みな
主の平和が皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

新主教 へい わ あい さつ か
平和の挨拶を交わしましょう

臨席の主教は、新主教に「主の平和」と言って挨拶を交わす。
次に一同互いに挨拶を交わす。

新主教は、ほかの主教とともに聖餐式を司式する。

奏 楽 Te Deum M.A.Charpentier

「テ・デウム」 シャルパンティエ

ほう
奉

けん
献

ここで次の言葉を唱える。

執事 ^なみ名に^{えいこう}ふさわしい^{しゅ}栄光を^き主に^{そな}歸し、^{もの}供え物^{ささ}を^さ献げ

ましよう

主教 ^{ぜんち}全地は^{おが}あなたを^{うた}拝み、^なあなたを^{うた}ほめ^な歌い、^なみ名を
^{うた}ほめ^{うた}歌う^{かみ}であらう。すべて^{おそ}神を^{もの}畏れる^き者よ、^き来て^き聞
^{かみ}きなさい。神が^つわたしのため^つになされたことを^つ告げ
よう(詩66:3、15)

一同次の聖歌を歌う。

せい か
聖歌 古今聖歌集 第 2 1 3 番

HYRYDOL

5747 5747

Rowland H. Peckard, c. 1840

ハレホーサ (ハ) イスーロシ (ハ) にかちまーせり

ハレホーサ (ハ) わがきーみ (ハ) をすべたーもう

よろずーのく (ハ) にこーり (ハ) あがなーわれーたる

たーみらーたか (ハ) らか (ハ) に (ハ) をほーめまのる (ハ) アー

- 1 ハレルヤ 主イエスは 死に かちませり
ハレルヤ わがきみ 世を すべ たもう
よるずの くに より あがなわれたる
たみら たからかに 主をほめまつる
- 2 ハレルヤ 主イエスは さいしの おさぞ
ハレルヤ ひとたび いけにえ ささげ
たえせず みちちの みまえに 立ちて
つみある われらを とりなし たもう
- 3 ハレルヤ 主イエスは いのちの かにぞ
ハレルヤ われらを つねに やしのう
うえ かわく ものを きよき うたげに
むかえて たまわる その みからだを
- 4 ハレルヤ 主イエスは 世を すべおさむ
ハレルヤ みくらは とわに うごかず
ちしおを ながして 死と よみに かけ
みすくいを たもう ほめよ たたえよ
- 5 ハレルヤ 主イエスは 死に かちませり
ハレルヤ わがきみ 世を すべ たもう
よるずの くに より あがなわれたる
たみら たからかに 主をほめまつる

会衆の代表者は、パンとぶどう酒および信施を主教に渡す。
主教はこれを供えるとき、次の祈りを用いる。

本日の信施は、主教会の働き（日本聖公会主教会資金）のため用いられます。

主教 ぜんのう ちち かみ しんせ そな もの う しゅ
全能の父なる神よ、この信施、供え物を受け、主
わざ もち
のみ業のために用いてください

会衆 しゅ たまもの しゅ う
すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受
しゅ ささ
けて主に献げたのです アーメン（歴代上 29：14）

会衆は着席する。

かん しゃ せい べつ
感謝 聖 別

主教 しゅ みな
主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

主教 こころ かみ
心を神に

会衆 しゅ こころ ささ
主に心を献げます

主教 しゅ かみ かんしゃ
主なる神に感謝しましょう

会衆 かんしゃ さんび つと
感謝と賛美はわたしたちの務めです

主教 せい ちち えいえん ぜんのう かみ
聖なる父、永遠にいます全能の神よ、いどこに
こ しゅ
おいても、み子イエス・キリストによって、主に

かんしゃ しゅ さんび ただ よろこ
感謝し、主を賛美するのは、正しく喜ばしいこと
です。

こ ちち い ことば ちち こ
み子は、父の生きたみ言です。父はみ子によって
えいえん はじ ばんぶつ つく に
永遠の初めから万物を造り、みかたちに似せてわ
つく
たしたちを造られました。

ちち こ ひと う じゅうじか し
父は、み子を人として生まれさせ、十字架の死と
ふっかつ つみ くさり かいほう
復活によって、わたしたちを罪の鎖から解放し、
こ じしん みぎ あ
み子をご自身の右に挙げられました。

せいれい おく かみ たみ
そして聖霊を送り、わたしたちを神の民としてみ
まえ た しゅ さいし しゅ ひと
前に立たせ、主の祭司として主とすべての人びと
つか
に仕えさせていただきます

しゅ てん のぼ ちち みぎ ざ
ことに、主イエス・キリストは天に昇り、父の右に座
のち こうかい せいれい くだ ちから ばん
して後、公会に聖霊を降し、そのみ力によって万
こく えいえん ふくいん の つた
国に永遠の福音を宣べ伝えさせられました。わた

せいれい やみ まど なか あき
したちは聖霊によって、闇と惑いの中から明らかな
ひかり みちび ちち こ
光に導かれ、父とそのみ子イエス・キリストをまこと
し
に知ることができます

つか つか かしら
ゆえにわたしたちは、み使いとみ使いの頭およ
てん ぜんかいしゅう しゅ どうと な
び天の全会衆とともに、主の尊いみ名をあがめ、
つね しゅ うた
常に主をたたえて歌います

一同次の言葉を歌う。

聖なるか-は 聖なるか-は 聖なるか-は 万軍のかみ 主のえい光は

天地に満つ いとたかきところに ホサナ ほめたたえよ

主のみ名によつて 来られるかたを いとたかきところに ホサナ

主教 ^{てん} 天の父よ、^{ちち} 救い主、^{すく} み子イエス・^{ぬし} キリストによつて^こ わたしたちの^{かんしゃ} 感謝・^{さんび} 賛美をお受けください。わたしたちは^こ み子の^{もはん} 模範にならい、その^{さだ} み定め

したが せいてん おこな ことば せいれい
従ってこの聖奠を行います。どうかみ言葉と聖霊
しゆ たまもの しゆ しゆく
により、主の賜物であるこのパンとぶどう酒を祝
せい こ とうと からだ
し、聖として、わたしたちのためにみ子の尊い体
ち
と血にしてください。

しゆ わた よる と かんしゃ
主イエスは渡される夜、パンを取り、感謝してこ
さ でし あた い と
れを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取っ
た ちん あた
て食べなさい。これはあなたがたのために与え
からだ きねん
るわたしの体です。わたしを記念するため、この
おこな
ように行いなさい」

しよくじ のち さかずき と かんしゃ かれ あた
また食事の後、杯を取り、感謝して彼らに与えて
い みな さかずき の
言われました。「皆この杯から飲みなさい。これ
つみ ゆる え
は罪の赦しを得させるようにと、あなたがたおよ
おお ひと なが あたら けいやく ち
び多くの人のために流すわたしの新しい契約の血
の きねん
です。飲むたびにわたしの記念としてこのように
おこな
行いなさい」

一同次の言葉を歌う。

一同

キリストは死に キリストはよみがえり

キリストはふたたびこられます

主教

てん ちち さかすき
 天の父よ、わたしたちはこのパンとこの杯によ
 こ ひと ささ じゅうじか ぎせい
 て、み子がただ一たび献げられた十字架の犠牲を
 きねん えいこう ふっかつ しょうてん せんげん こ
 記念し、栄光ある復活、昇天を宣言し、み子が
 ふたたび こ まつ おこな
 再び来られるまでのこの祭りを行います。
 かんしゃ さんび てん さいだん いた
 どうかこの感謝・賛美のいけにえを天の祭壇に至
 だいさいし こ う
 らせ、大祭司であるみ子によってお受けください。
 まえ せい たまもの
 み前でこの聖なる賜物にあずかるとき、わたした
 せいれい あら しゅ あい い
 ちを聖霊によって新たにし、主の愛によって生か
 こ からだ きょうかい
 し、み子イエス・キリストの体である教会のうち

むす あ てん ぜんかいしゅう な
に結び合わせ、天の全会衆とともにみ名をあげ
させてください

一同 わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求
めまた思うところの一切を、はるかに越えてかなえ
てくださることができの方に、教会により、またキリ
スト・イエスによって、栄光が世々に限りなくあり
ますように アーメン (エペソ 3:20, 21)

ばい さん
陪 餐

主 教 一 同

救い主キリストが 天におられる み名が聖と み国が
 前奏 教えられたように祈りましょう わたしたちの父よ、さしますように。来ますように。

み心が天に 地にも わたしたちの 今日も わたしたちの お救し
 行かれるとお祈り、行われますように。日ごとの糧を お与えください。 罪を ください

わたしたちも 救います。わたしたちを 誘惑に 陥らせず、悪から 救ってください。 国と カと 栄光は、
 人生

永遠にあはたのものです アーメン

主教はパンを裂く。そのとき、次のように言う。

主教 わたしたちがパンを裂くとき

会衆 キリストの体にあずかります (コリント 10:16)

主教 パンが一つであるから

会衆 わたしたちは多くいても、一つの体です

(コリント 10:17)

一同次の祈りを唱える。

あわ ぶか しゅ じ ぶん たよ
憐れみ深い主よ、わたしたちは自分のいさおに頼らず、
しゅ あわ しん つくえ まい
ただ主の憐れみを信じてみ机のもとに参りました。わた
つくえ お ひろ た もの
したちは、み机から落ちるくずを拾うにも足りない者です
しゅ つね やしな めぐ
が、主はかわることなく常に養ってくださいます。恵み
ぶか しゅ こ
深い主よ、どうかわたしたちが、み子イエス・キリストの
にく しょく ち の つみ からだ たましい
肉を食し、その血を飲み、罪あるわたしたちの体と魂
とうと からだ ち きよ
が、キリストの尊い体と血によって清められ、わたしたち
つね つね
は常にキリストにおり、キリストは常にわたしたちにおら
れますように アーメン

続いて次の言葉を歌う。

前奏 1. 世の罪を除く神のこひつじよ あわれみをおあたえください

3. 世の罪を除く神のこひつじよ 主のへいあんをおあたえください

主教とほかの受聖餐者は陪餐する。分餐のとき、おのおのに次のように言い、陪餐者は「アーメン」と言う。

あなたのために与えられた主イエス・キリストの体

アーメン

あなたのために流された主イエス・キリストの血

アーメン

アンセム

東京教区聖歌隊

「主の祈り」 李建鏞

The Lord's Prayer G.Y. Lee

立教女学院高等学校聖歌隊

Confitemini Domini A.Constantini

「主を讃えよ」 コンスタンティーニ

O love, how deep, how broad, how high

Schütz-Dietterich

「大いなる愛に」

シュッツ・ディーテリヒ

東京教区聖歌隊

O thou the central orb C. Wood

「宇宙の主よ」 ウッド

一同次の聖歌を歌う。

せいか

聖歌 古今聖歌集増補版 第25番

主はわががいのぬし

The first line of the musical score is in 3/4 time with a key signature of one flat (B-flat). The melody is written on a treble clef staff, and the bass line is on a bass clef staff. The lyrics are written below the treble staff.

われはまっじ

The second line of the musical score continues the melody and bass line. The lyrics are written below the treble staff.

みめぐみによりて

The third line of the musical score continues the melody and bass line. The lyrics are written below the treble staff.

すかんてたれり

The fourth line of the musical score concludes the hymn with a double bar line. The lyrics are written below the treble staff.

- 1 . 主はわがかいぬし われはひつじ
みめぐみによりて すべて足れり
- 2 . 青草の原に われを伏させ
いこいの水辺に 伴いたもう
- 3 . 主はわがたましい 生きかえらせ
正しき道へと みちびきたもう
- 4 . 死のかげの谷を 行くときにも
わざわい恐れじ 主ともにます
- 5 . 恵みにあふるる うたげひらき
油そそぎたもう わが頭に
- 6 . 命ある限り さちはつきず
主の家にわれは とわに住まわん

主教 ^{いの} 祈りましょう

一同次の祈りを唱える。

えいえん ぜんのう かみ せいてん もの
永遠にいます全能の神よ、この聖奠にあずかった者を、
こ どうと からだ ち やしな
み子イエス・キリストの尊い体と血をもって、養ってく
ださることを感謝します。主はこれによって、わたした
かんしゃ しゆ
ちがみ子の体のえだであり、み国の世継ぎであることを
こ からだ くによつ
いよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、わた
あき てん ちち
したちはみ子によって、心も体も生きた供え物として献
げます。どうか、せいれい よつか
わし、み旨を行う者とならせてください。栄光は世々に
むね おこな もの えいこう よよ
かぎ ちち こ せいれい
限りなく、父と子と聖霊にありますように アーメン

主教は次の言葉を用いて会衆を祝福する。

かみ こ く ふくいん みな
神のみ子キリストが、み国の福音をもって、皆さんにます
よろこ み
ます喜びを満たして下さいますように
ちち こ せいれい ぜんのう かみ めぐ つね みな
父と子と聖霊なる全能の神の恵みが、常に皆さんとともに
ありますように アーメン

ご来賓の紹介

派遣の唱和

一同、立って次の唱和を用いる。

執事



ハレルーヤ、主キキもに行きましょう

会衆



ハレルーヤ、主のみ名によつて アーメン

(♩)

一同次の聖歌を歌う。

せいか
聖歌 古今聖歌集 第299番

[メロソーン]

LAST UNS ERFREUEN
1848&1849 Melody from Geistliche Kirchenorgel, Cologne, 1824

あまのみのかいよせはじまのさび

(ハ—ロニー)

[メロソーン]

んはえあるせいよみくらをめぐり

(ハ—ロニー)

てよるこびたたとよへれんすハロ

[メロソーン]

んさハロんさハロんすハロんす

1. あまつ みつかいよ ケルビム セラピム
 はえある せいじゃよ
 みくらを めぐりて よろこび たたえよ
 ハレルヤ(5回)
2. みつかいに まさり たかきに まします
 さかえの 主イエスよ
 あめなる たたえを みちびき たまえや
 ハレルヤ(5回)
3. とわの やすらいに いこう せいとらよ
 よげんしゃ さいしよ
 あめなる たたえに かちどき あわせよ
 ハレルヤ(5回)
4. 地にある ともらよ あめつち こたえて
 いざ いざ ささげん
 ちち みこ みたまに とわの ほめうたを
 ハレルヤ(5回)

日本聖公会祈祷書の定式によるこの式文は、救主降生2001年3月31日の聖職按手式において使用するため、東京教区主教が認可したものである。
